

社 会 教 育 課

1 基本方針

市民一人ひとりが、生涯を通じて、学びによって自己実現を図り、地域社会で活躍できるよう、地域の人たちと連携・協働し、各自のライフステージに応じた多種多様な学習の機会を提供するとともに、学びの成果を社会活動に役立てることのできる環境の整備を進めます。

特に、コロナ禍によりデジタル化が加速されてきたことから、情報格差を解消し知識を習得するための機会の提供を強化します。

少子高齢化や高度情報化社会の進展により、家庭や地域社会を巡る課題は多様化、複雑化しています。このような社会の中で、青少年が心身ともに健全に成長し、社会の一員として自立し活躍できるよう、家庭や地域における教育力を高めていくとともに、青少年が地域活動に積極的に参加できるよう働きかけていきます。

市民ひとり1文化活動の実現に向けて心の豊かさを培う文化事業を幅広く展開し、市民の文化力向上に努めます。

より身近で誰でも気軽に文化芸術に触れる機会を提供するとともに、幅広い文化芸術の事業展開や、活動の拠点となる文化施設の円滑な運営と適切な管理に努めます。

2 基本施策

(1) 生涯学習の推進

ア 第2次生涯学習推進大綱に基づく生涯学習施策の推進

平成31年3月に策定された第2次生涯学習推進大綱の理念の普及を目指します。特に、幅広い年齢層の市民への学習の広がり重視して、各事業や各活動の後継者育成や若年層の参加の促進を図ります。

さらに、新型コロナウイルス対応策の強化も併せ、デジタル化に対応できるスキルを持つ講師等の育成を図ります。

イ 公民館・公民館類似施設の運営と活動の推進

地域住民の学びへのきっかけづくりを目的として市民学級や社会教育講座等を開講し、地域への愛着や誇りを高める生涯学習推進の拠点として、地域文化の振興を図ります。特に、新型コロナウイルス対応策の強化としてデジタル化に対応した講座等を開催し、市民間の情報格差（デジタルデバイド）の解消を目指します。

また、老朽化により修繕が必要な箇所については、計画的な予算執行による修繕を実施し、各施設の安全性の維持と管理を行います。

さらに、六合・初倉・金谷の3公民館に係長級の正規職員をセンター長または館長として配置し、公民館業務の機能強化を図るとともに、地域における市民協働推進の拠点としての役割を担っていきます。

ウ 東海道金谷宿大学事業の運営

東海道金谷宿大学は、『教えたい人（教授）』と『学びたい人（学生）』の両者に活動の場を提供する生涯学習事業であり、令和3年度は88講座（予定）を開講し、事業を進めます。

年間講座・短期講座の新規の開設及び新規学生の獲得とともに、教授の高齢化に伴う後継者育成は大きな課題となっています。これを改善するため、学生から「教授の卵」を育成する「アシスタント制度」の導入を検討し、現教授の講座を引き継ぐ体制づくりに引き続き取り組んでいきます。

エ しまだ楽習センターの運営

一層の運営効率化とサービス向上を目指し、平成30年4月から指定管理者として「静岡ビル保善株式会社」が管理運営を行っています。

専門性を生かした自主講座の開催等による市民目線でのサービス向上、及び新型コロナウイルスへの適切な対応により、市民の生涯学習活性化に寄与するよう要請・指導に努めます。

オ 野外活動センター山の家の運営

平成18年度から「NPO法人いこいの広場」が、指定管理者として管理運営を行い、自主イベントの開催やスポーツと文化合宿のPRなど工夫をこらした運営を行っています。

令和2年から継続するコロナ禍により利用者が減少している傾向にありますが、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を行うとともに、野外レクリエーション活動施設として、コロナ禍における強みを生かした運営に努めていきます。

カ 山村都市交流センターささまの運営

平成22年度から指定管理者である地元団体の「企業組合くれば」が管理運営を行っており、体験メニューなどの自主事業や積極的なPR活動を実施しています。

令和2年から継続するコロナ禍により利用者が減少している傾向にありますが、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を行うとともに、青少年の健全育成や文化芸術団体等の活動施設、都市と山村の交流施設、地域活性化の拠点施設としての役割を果たしていきます。

○事務事業評価シート of 目標数値

区 分		単 位	令 和 3 年 度 目 標	令 和 2 年 度 実 績
事業の実績 (アウトプット)	公民館等講座開催回数	回	820	602
	金谷宿大学次年度講座数	講座	90	88
	しまだ楽習センター講座回数	回	1,000	900
	公民館等修繕工事費	千円	10,146	6,697

	山の家修繕工事費	千円	7,716	1,923
	ささま修繕工事費	千円	351	6,007
事業の成果 (アウトカム)	公民館等講座参加延人数	人	11,257	8,410
	公民館等利用者数	人	131,680	99,344
	金谷宿大学次年度講座学生数	人	930	918
	しまだ楽習センター講座参加延人数	人	11,500	9,956
	しまだ楽習センター利用者数	人	30,000	25,391
	山の家宿泊者数	人	4,000	3,392
	ささま宿泊者数	人	1,000	682

* 令和2年度実績は、見込みの数値です。

【令和3年度目標達成プラン】

- ・ 第2次生涯学習推進大綱（平成31年3月策定）の考えの周知とともに、生涯学習の一層の充実を図るため、後継者育成や若者の参加、並びにデジタル教育を積極的に推進します。

(2) 青少年の健全育成

ア 家庭教育の充実

子供の「生きる力」の基礎的な資質や能力を培う上で重要な役割を担う「家庭の教育力」の向上を図るため、新型コロナウイルスの感染防止対策を講じ、「初めて0歳児をもつ親の講座」、「幼児・児童をもつ親の講座」、「小・中学生をもつ親の講座」など各年齢層に応じた講座や家庭教育講演会を開催します。

また、親同士のつながりを大切にし、学び合う機会とするため、小学校での家庭教育学級の開設や翌年度小学校へ入学する児童をもつ親を対象とした親学講座を開催します。このほか、健康づくり課や子育て応援課などと連携し、子育ての悩みや不安を抱える親に対する支援を実施していきます。

「子育て広場」については、ペアレントサポーターが、子育ての不安や悩みについて相談に応じます。また、ペアレントサポーターが独自に開催している自主講座について、支援していきます。

イ 子供読書活動の推進

島田市子ども読書活動推進計画（3次計画）に基づき、家庭や地域における子供の読書活動の推進を図るため、各家庭教育学級へ読み聞かせ学習会の提案や親学講座の中で親子一緒に本に親しむことの大切さを引き続き伝えていきます。また、地域での読み聞かせ活動を促進するため、読み聞かせボランティアが公民館等で親子ふれあいの場や親同士の交流の場を設けることを支援するとともに、ボランティアの育成や交流を進めていきます。

ウ 青少年育成支援センター運営協議会の運営

「地域の子供は、地域で見守り育てる」施策を進めるため、育成補導委員による補導活動及び育成活動を推進するとともに、各小学校

で実施している「子どもをまもる110番の家」の設置支援を行っていきます。インターネット上に潜む危険から子供を守るため、市内中学校区でネットパトロールを実施します。

また、生活安心課が推進する防犯まちづくりと連携して、新型コロナウイルスの感染防止対策を講じた「明るく安心して暮らせるまちづくり市民大会」を開催し、地域社会全体で青少年の健全育成を推進する意識をさらに高めていきます。

エ 子ども・若者プランの推進

関係機関との連携を充実し、平成30年度に策定した第2期島田市子ども・若者育成支援計画「しまだ大井川子ども・若者プラン」の推進を図ります。

オ 子ども・若者支援地域協議会の運営

「島田市子ども・若者支援地域協議会」の実務者による研修や情報交換等を定期的で開催するとともに、要保護児童対策地域協議会との連携や関係機関とのネットワークの形成を図り、課題のある子供・若者に対する支援につなげていきます。また、青少年相談窓口を広く周知し、子供・若者やその関係者の悩みを受け止め、必要な支援につなげます。ひきこもりなどに悩む若者やその家族へは講座や座談会を開催し、立ち直りを支援します。このほか、子供・若者に係る課題に対し地域の理解を深めるため、講演会を開催します。

カ 青少年育成事業の推進

日常生活の中で関係性が薄れつつある地域社会や自然とのふれあいの中で、異年齢で構成された集団活動を通じて、青少年の自主性や連帯性、社会性などを培うとともに、郷土への愛着心を醸成し「地域に貢献できる人づくり」を新型コロナウイルスの感染防止対策を講じながら、継続的に推進していきます。

- ・少年育成教室「しまだガンバ！」
- ・青少年リーダー養成講座「はばたけリーダー！2021」
- ・青年ボランティア講座
- ・通学合宿
- ・子ども会育成事業

キ 学校・家庭・地域の連携による教育支援事業

① 放課後子ども教室の開催

放課後における様々な体験機会の提供を行う安全・安心な居場所づくりを進めると同時に、心豊かでたくましい子供を地域全体で育むため、地域住民や学校の協力を得ながら実施していきます。

② 地域学校協働本部事業

学校への必要な支援を地域住民の参画により実現するために、地域学校協働活動推進員（コーディネーター）を各中学校区に配置し、地域と学校が連携・協働して様々な活動を実施し、コミュニティ・スクールとの一体的な推進を図ります。

また、学習支援「しまだはつくら寺子屋事業」については、引き

続き初倉小学校、初倉南小学校で実施していきます。

ク 成人式の開催

新成人が一堂に会し、社会人としての責務や自覚を促し、今後の島田市を担う意識付けを行うため成人式を開催します。

○事務事業評価シートでの目標数値

区 分		単 位	令 和 3 年 度 目 標	令 和 2 年 度 実 績
事業の実績 (アウトプット)	家庭教育講座の開催回数	回	41	35
	家庭教育学級の学級生数	人	800	834
	親学講座の開催回数	回	17	11
	街頭補導実施回数	回	100	108
	少年教室「しまだガンバ！」 実施回数	回	7	4
	放課後子ども教室実施回数	回	25	22
	地域学校協働推進員人数	人	8	8
	成人式若者会議開催回数	回	1	1
事業の成果 (アウトカム)	家庭教育講座の参加者数	人	2,224	792
	家庭教育学級の学習時間	h	102	78
	親学講座の参加者数	人	800	433
	街頭補導延参加者数	人	400	537
	少年教室「しまだガンバ！」 参加者数	人	36	25
	放課後子ども教室参加者数	人	30	17
	地域学校協働本部事業等ボラ ンティア活動延人数	人	370	53
	成人式の出席者率	%	73	—

*令和2年度実績は、見込みの数値です。

【令和3年度目標達成プラン】

- ・子育て学習推進事業について、講座の内容を見直し、参加者数の増加を図ります。また、普段子供とふれあう機会の少ないお父さんに参加してもらい、親子での遊びや運動を通じて、ふれあう時間を共有し、絆を育むことで家庭における教育力の向上を図るため、新規講座として「お父さんのためのあそびの教室」を休日に開催します。
- ・島田市子ども・若者育成支援計画について、子ども・若者支援地域協議会で数値目標の実績評価を行い、進捗管理を行います。
- ・「しずおか寺子屋推進事業」については、引き続き初倉小学校、初倉南小学校を対象として学習支援を展開します。

(3) 市民文化の振興

ア 文化施設（プラザおおるり・金谷生きがいセンター・川根文化センター）の管理運営

プラザおおるりの管理運営については平成31年度から5年間、金谷生きがいセンターについては平成29年度から5年間、それぞれ「㈱まちづくり島田」を、川根文化センターについては平成30年度から5年間、「特定非営利活動法人NPOまちづくり川根の会」を指定管理者として管理運営を委託しています。

文化振興の拠点として、各館の特徴を生かした効果的かつ効率的な運営ができるよう、情報共有や運営能力向上に向けた協議等により、市民サービスと文化創造力の向上に努めていきます。

特にプラザおおるりについては、令和2年度に実施した施設総合診断調査結果を基に、効率的で効果的な施設維持・修繕を実施するための対策を個別施設計画に反映し、機能性と利便性の向上を図ります。

イ 芸術文化振興事業の開催

コロナ禍において減少する文化芸術に親しむ機会を創出するとともに、島田市ゆかりのアーティストを応援するコンサートや中高生の成果発表をオンライン配信する事業、影絵の上演ワークショップなど、新型コロナウイルスの感染防止対策をとりつつ、多様な鑑賞・体験機会を提供します。また、イベントや施設・店舗などで市民の文化芸術活動者が出演する「街角ライブ」事業、学校や施設、学習会などにアーティストを派遣するアウトリーチ事業についても、主催者と連携をとりながら感染予防に十分配慮し、引き続き実施します。これらの事業を通じて、コロナ禍においても幅広い年齢層の市民や様々な境遇にある市民がより身近に文化芸術に触れることのできる機会を提供するとともに、文化芸術を担う人材の育成を図るための事業を展開します。

また、文化芸術による新たな視点から地域を見直し、その魅力を内外に発信する取組を支援するアート・コミュニティ推進事業については、今後さらなる発展が期待される「ささま国際陶芸祭」、及び「無人駅芸術祭」を引き続き支援していきます。

ウ 島田市民文化祭の開催

市民文化祭については、令和元年度から始めた市民文化祭の評価会議を実施し、実行委員会との連携を一層強化するとともに運営方法の改善などに努め、若年層をはじめ、幅広い市民の参加を促進し、市民の更なる文化力の向上と発展を図っていきます。

エ 島田市芸術文化奨励賞の授与

芸術文化の向上に寄与した個人、団体を賞揚し、更なる文化活動の発展のため、制度の普及と対象者の発掘に努めます。

オ 文化団体への支援

市民の文化・芸術活動の活性化を図るとともに、次代を担う人材の

育成に努める文化活動団体を支援するため、文化協会、少年少女合唱団、児童合唱団カナリヤに対し補助金を交付します。

また、年間を通じ広く市民への文化芸術の普及活動を行う公益性の高い文化活動団体の活動を支援するため、文化施設利用料に対する利用料の一部負担を引き続き行います。

○事務事業評価シート of 目標数値

文化施設管理運営事業

(プラザおおるり・金谷生きがいセンター・川根文化センター)

区 分		単 位	令 和 3 年 度 目 標	令 和 2 年 度 実 績
事業の実績 (アウトプット)	3施設指定管理者情報交換会	回	3	2
	施設管理委託費	千円	127,858	128,418
	施設修繕工事費(工事請負費及び設計・工事監理委託料)	千円	5,824	258,240
事業の成果 (アウトカム)	ホールの利用率(3館平均)	%	27.00	13.93
	ホール以外の利用率(3館平均)	%	20.00	15.11
	施設利用者(合計)	人	60,850	34,811

芸術文化振興事業・市民文化活動支援事業

区 分		単 位	令 和 3 年 度 目 標	令 和 2 年 度 実 績
事業の実績 (アウトプット)	芸術文化事業開催件数	件	3	6
	アウトリーチ事業開催件数	件	5	2
	市民文化祭運営交付金	千円	2,200	2,200
	次世代育成補助金交付団体数	団体	2	2
事業の成果 (アウトカム)	芸術文化事業入場者数	人	800	731
	アウトリーチ事業参加者数	人	350	150
	市民文化祭出展者数	人	530	527
	市民文化祭出演者数	人	572	392

*令和2年度実績は、見込みの数値です。

【令和3年度目標達成プラン】

- ・新型コロナウイルス感染予防対策や施設利用者の活動自粛などにより、例年に比べ施設利用率や利用者数の大幅な減少が見込まれているが、施設の指定管理者と連携を図りながら、指定管理者が行う事業の開催方法などの工夫や、昨年度導入したWeb配信機器を活用することで、全体の数値の増加に努めます。
- ・市民文化祭については、新型コロナウイルス感染防止対策を講じつつ学校や市主催の講座の参加者に対し呼び掛けを強化し、出展・出演者の増加に努めます。